

令和3年度の重点課題

○男子では、運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が3.8%で女子は7.14%。運動に苦手意識を持つ児童が一定数いる。

○運動や体育の授業をすることがあまり楽しくない、楽しくないと答える児童の割合が10.1%である。(前年比1%↑)

○運動や体育の授業をすることが楽しいと答える児童の割合が70.3%である。(前年比8.1%↓)

○男子では「上体起こし」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」において、県平均値かつ全国平均値より低い。

○女子では「上体起こし」「20mシャトルラン」において、県平均かつ全国平均値より低い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○授業の導入で雰囲気高める運動を行うことで運動の楽しさを味わわせ、運動に親しむことができる児童を増やす。(コオーディネーショントレーニング、基礎的な運動)

○体育の準備運動において上体起こし、反復横跳び、登り棒、走ることを利用した運動を重点的に行う。(新みながトレーニング)

○体づくり運動を中心に、日頃経験しない動きを意図的に行わせるようにし、基礎的な運動感覚を身に付けさせる。(新みながンビック、コオーディネーショントレーニング)

○基礎体力向上のために授業前の運動の機会を保障する。(鬼ごっこ)

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	19.47	19.33	36.18	44.89	54.18	8.82	165.65	25.59	57.42	第5学年	18.83	19.13	38.92	38.71	38.25	9.45	146.63	13.42	59.74

県平均値かつ全国平均値未満

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	19.47	19.33	36.18	44.89	54.18	8.82	165.65	25.59	57.42	第5学年	18.83	19.13	38.92	38.71	38.25	9.45	146.63	13.42	59.74

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	88.9	11.1	0.0	0.0

女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	43.48	39.13	13.04	4.35

県平均値未満

学校独自の意識調査

1アンケート	「運動や体育の授業は楽しいですか。」(令和3年度)				合計	1アンケート	「運動や体育の授業は楽しいですか。」(令和4年度)				合計
	楽しい	やや楽しい	まあ楽しい	楽しくない			楽しい	やや楽しい	まあ楽しい	楽しくない	
1年	67.3	19.2	11.5	1.9	100.0	1年生	89.8%	6.1%	2.0%	2.0%	100.0%
2年	75.5	10.2	8.2	6.1	100.0	2年生	76.9%	21.2%	0.0%	1.9%	100.0%
3年	77.8	17.8	4.4	0.0	100.0	3年生	77.3%	13.6%	6.8%	2.3%	100.0%
4年	57.8	31.1	6.7	4.4	100.0	4年生	80.9%	12.8%	6.4%	0.0%	100.0%
5年	66.7	27.8	3.7	1.9	100.0	5年生	66.7%	28.2%	5.1%	0.0%	100.0%
6年	76.7	11.6	11.6	0.0	100.0	6年生	64.2%	24.5%	5.7%	5.7%	100.0%
全校合計	70.3	19.6	7.7	2.4	100.0						

重点課題

<情意面>

- 男子
 - ・「運動やスポーツをすることがややきらい、きらい」と答える児童の割合が0%である。前年度に比べて3.8%減少した。
- 女子
 - ・「運動やスポーツをすることがややきらい、きらい」と答える児童の割合が17.39%である。前年度に比べて10.25%増加した。
- 全体
 - ・「運動や体育の授業をすることがあまり楽しくない、楽しくない」と答える児童の割合が11.4%である。(前年比1.3%↑)
 - ・「運動や体育の授業をすることが楽しい」と答える児童の割合が64.2%である。(前年比6.1%↓)

<体力面>

- 男子
 - ・県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較において「上体起こし」は県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子
 - ・県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較において「反復横跳び」は、県平均かつ全国平均値より低い。
 - また、県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較において「反復横跳び」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」「ボール投げ」において県平均値かつ全国平均値より低い。
- 全体
 - ・体育を好き、やや好きと答えた女子の児童が県平均より5%下回っている。

令和5年度の重点目標値

- 運動やスポーツがややきらい、嫌いと答える児童の割合を前年度以下にする。
- 一日の活動時間が30分未満の児童の割合を前年度以下にする。
- 「20mシャトルラン」において、男女とも県平均値かつ全国平均値以上にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 体育の準備運動において上体起こし、反復横跳び、登り棒、走ることを利用した運動を重点的に行う。(新みながトレーニング)
- 体づくり運動を中心に、体力づくりを長期的かつ計画的に授業に組み込む。(新みながンビック、なわとび運動)
- 授業の導入で雰囲気高める運動を行うことで運動の楽しさを味わわせ、運動が苦手な児童も運動に親しむことができるようにする。(コオーディネーショントレーニング、基礎的な運動)

体育の授業以外で行う取組内容

- 児童が自発的に企画・運営し、目標をもって外遊びをし、体力の向上を図ろうとする機会と場を設定する。(児童会の体育委員会による運動の記録・夏冬のみながンビックの表彰等)
- 生活を改善するための保護者への情報発信を積極的に行う。(学校通信、学年通信、保健だより、みながンビック)
- 教職員間で「休み時間の過ごし方」の共通理解や月1回のクラス遊びなど、外遊びを推奨し、体を動かす機会を保障する。
- 全児童を対象とした意識調査を年に複数実施し、分析する。